

射水市教育施設指定管理者候補者選定委員会会議録

1 開催日時、場所

令和6年10月29日（火） 午前9時から
本庁舎4階 401会議室

2 選定委員会委員

宮田委員、春山委員、明野委員、中川委員、六渡委員

3 応募状況

	施設名	応募者
1	新湊総合体育館及び新湊テニスコート	特定非営利活動法人 新湊カモンスポーツクラブ
2	小杉総合体育センター	特定非営利活動法人 こすぎ総合スポーツクラブきらり
3	小杉体育館	特定非営利活動法人 こすぎ総合スポーツクラブきらり
4	大門総合体育館	特定非営利活動法人 だいもんスポーツクラブ
5	大島体育館及び大島弓道場	特定非営利活動法人 おおしまスポーツクラブ
6	下村体育館、下村グラウンド及び下村 テニスコート	特定非営利活動法人 しもむらスポーツクラブまいけ
7	サン・ビレッジ新湊	公益財団法人 射水市スポーツ協会
8	パークゴルフ南郷	特定非営利活動法人 だいもんスポーツクラブ
9	下村パークゴルフ場	特定非営利活動法人 しもむらスポーツクラブまいけ
10	下村馬事公園	特定非営利活動法人 しもむらスポーツクラブまいけ
11	海竜スポーツランド	公益財団法人 射水市スポーツ協会

4 会議録

(1) 新湊総合体育館及び新湊テニスコート

(質疑応答)

委員 施設全体にかかる総合的な説明であったが、テニスコート単独での活用方法はあるか。

応募者 テニスコートの活用を特別切り分けては考えていない。屋内と同様に衛生面、安全面を考慮しながら利用者が使いやすい管理に努めている。

委員 現在の会員数はおよそ1,700名で、目標が2,000名としているが、会員数増加のための具体策はあるか。

応募者 教室をさらに充実させることを考えている。開催している教室3つまでは参加料が無料という制度（スペシャル活動会員制度）があるので、利用者ニーズに合った教室を充実させることで教室の参加者数の増加及び会員数の増加を図りたい。また、利用者層を見ていると高齢女性が多いため、今後は高齢男性の体力づくり、健康づくりについて何かできないかと思案している。

委員 募集要項で見込まれている収入よりも、申請書で見込まれている収入の方が大きい、なぜか。

応募者 施設とクラブが一体となった運営という点で、先に説明したような教室の充実によって施設利用者を増加させ、施設利用料収入が増加する見込である。また、競技団体や大会運営者との円滑な連携により、土日の利用をほぼ100%にしている。平日は高齢者のふれあい、健康づくりの場として毎日の利用をサークルに対して働きかけている。

(2) サン・ビレッジ新湊、海竜スポーツランド

(質疑応答)

委員 地域振興会との連携として、サン・ビレッジ新湊はどのように利活用されているか。

応募者 グラウンドを地元の消防団活動や運動会で利用されている。

委員 サン・ビレッジ新湊は広く活用してもらうことが課題だと考えるが、いかがか。

応募者 スポーツ協会はスポーツ少年団の事務局も担っているので、各団体に利用を呼びかけている。その結果、定期的にスポーツ少年団の野球チームや社会人スポーツ団体の利用に繋がっている。

委員 サン・ビレッジ新湊について、令和4年度から5年度にかけて利用者が増加している一方で収入が減少しているのはなぜか。

応募者 例えば夜間にグラウンドを利用する場合には夜間照明の利用料がかかる。日中と夜間とでは同じ利用時間でも料金が違うことも一因ではないかと考え

る。

委員 応募した両施設について課題と解決策を伺いたい。

応募者 コロナ禍で減少した利用者数が戻りきらないので、どのように利用者数を増やすかということが、両施設に共通した課題である。解決策としてはスポーツ少年団等の団体へのアナウンスが最重要だと考える。ホームページも改修したので、情報発信に努めたい。

委員 他市でプール施設の事故があったが、海竜スポーツランドはどのような対策を行っているのか。

応募者 プール監視マニュアルを見直し、これまでよりも監視の目が行き届くようにしている。また、監視員の意識向上のため、ミーティングの開催や研修への参加も行っている。

委員 令和6年能登半島地震の被害はあったか。

応募者 建屋よりも外構の被害が主であった。海竜スポーツランドの駐車場は県有地のため、復旧について県に申し入れている。

事務局 その他の地震被害復旧については市の予算で対応している。

(3) 小杉総合体育センター、小杉体育館

(質疑応答)

委員 2館はそれぞれ持っている機能が異なるように思う。使い分けに苦労している点はあるか。

応募者 確かに各館は規模・機能が異なるが、使い分けに関しての苦労は特に無い。両館の連携を取り、各館の空き状況などを踏まえて、利用者に利用方法等を提案するようにしている。また月1回、課題等を検討するための職員会議を行っている。

委員 両館の利用収入に思ったほどの差がない。分析していることはあるか。

応募者 小杉総合体育センターは大会の高額な利用が多く、小杉体育館は安価だが利用者が多いのでこのような収入実績になっていると考える。小杉体育館はトレーニング室の利用率が高いことと教室数が多いことも要因となっているが、収入をさらに上げたいと考えており、集客や接客対応の向上に努めている。

委員 令和元年度と令和4年度を比較し、利用者数が減少している一方で収入が増加しているのはなぜか。

応募者 細かな分析は行っていないが、コロナ禍で施設の空きが増えたことによって利用時間を延ばす団体があったり、今まで半面しか使っていなかったものが一面使うようになったりしたことも一因ではないかと考える。

委員 現在の会員数と、会員数増加の施策等があれば教えてほしい。

応募者 過去の最大数は1,248人であるが、コロナ禍で減少し、現在の会員数は1,166人である。魅力的な教室を増やしたいという思いを持っており、小学生の会員数は増えてきている。

市内5つの小学校で年40回、スポーツキッズ（教室）を開催している。その効果もあり小学生会員が増えてきているのではないかと思います。

委員 今後中学校の部活動の地域移行という課題があるが、中学生の受け皿として何か考えはあるか。

応募者 現在、中学生向けのハンドボール教室を定期的に行っている。これは当団体の強みであり、この事業が根付いてくれば、と考えている。

(4) 大門総合体育館、パークゴルフ南郷

（質疑応答）

委員 パークゴルフ南郷について、令和4年度から令和5年度にかけて利用者が減少した理由は何か。

応募者 パークゴルフ競技者の減少や夏季の猛暑による外出控えが主な原因であると考えている。大門パークゴルフ協会の会員数も減少していると聞いている。

委員 大門総合体育館について、近年の夏季は運動を中止するようアナウンスがあるほどの猛暑を記録している。体育館には冷暖房設備が無いが利用者は減少しているか。

応募者 減少している。アリーナには冷風機を設置しているので涼んでいる利用者も見受けられるが、日中の利用を控える方も多い。

委員 冬季の寒さ対策は何か行っているか。

応募者 ロビーにはヒーターを設置している。体育館内は利用者が準備した暖房機器を持ち込んでも良いという運用をしているので、大会時にジェットヒーターを使用されたりしている。

委員 クラブの会員数と中学生の内数は。

応募者 小学生から一般まで約320名であり、そのうち中学生は卓球教室の1～2名である。

委員 会員数や教室を増やすための戦略等あれば教えてほしい。

応募者 一番人数が増えるのは小学生である。今後は保育園などの意見を吸い上げていきたいと考えている。昨年K-POPのダンススクールを開催したところ、利用者が増加したので今後の参考としたい。

委員 中学校部活動の地域移行に関してどのような意見を持っているか。

応募者 部活動の地域移行については県内外問わず大きな問題になっていると認識しており、弊クラブが取り組めることを大門中学校に提案し協議を行っている。

る。学校側からの提案も得ながら、諸課題について引き続き協議を行っていることとしている。

委員 防災避難訓練はどのような内容で行っているか。

応募者 消防避難訓練が主であるが、実際の利用者に避難者役として協力してもらい、スタッフが火災現場から避難誘導する、という内容で行っている。年2回のうち1回は射水消防署にも来ていただき指導を受けながら行っている。消火器使用訓練は年2回行っている。

委員 承知した。大門総合体育館は指定避難所でもあるので、市とも連携を取りながら引き続き防災意識を高めていただきたい。

(5) 大島体育館及び大島弓道場

(質疑応答)

委員 施設の管理運営という面で、会員数や利用者の増加も課題だと思うが、その他に最も大きな課題やその対応として考えていることはあるか。

応募者 高齢者の利用が大変多くなっているので、怪我の未然防止や施設・設備の整備、また実際に怪我や急病の場合の対応が課題であると考えている。緊急時に備え、射水消防署のAED講習への参加やその他定期的な研修会の開催によって、万一に備えるとともに、安心して施設を利用してもらえるような環境づくりに努めている。

委員 障がい者スポーツ、パラスポーツに力を入れているという説明があったが、おおしまスポーツクラブ独自の取組なのか。

応募者 車いすバスケットの代表の方とお話をした際に、施設利用に困ることが多いと聞いた。私自身、障がい者スポーツのお世話をしたことがあったので、できることはないかと考え、数年前から少しずつ準備をしてきた。障がい者の方に大変喜んでいただき、また県からも問い合わせがあった。できる範囲はあるが、共生社会実現のために必要なことではないかと考えている。

委員 市内のスポーツクラブには拠点やそれぞれの地域範囲があると思うが、各クラブが取組むべき課題だと思うので、他スポーツクラブにも働きかけていただければと思う。

委員 利用者数はコロナ禍以前を超えているが、何か特別な取組をしているのか。

応募者 PR方法について、職員が広報誌やSNSの使い方を工夫したり、中学校体育連盟や高等学校体育連盟に働きかけて大会で利用してもらったりし、利用者数が増えている。当体育館を知らない方にも知ってもらえるよう、職員で意識を共有し、運営を行っている。

委員 弓道場の利用状況はどのようになっているか。

応募者 弓道場の利用も増加してきている。2000年富山国体を機に建てられた施設であり、その歴史を守っていききたい。弓道連盟と協力し、初心者向けの弓道教室も開催している。受講者に弓道連盟に加入いただくことで弓道人口も増やしている。今年は教室の開催回数は1回だったが、今後は2回、3回と増やしていきたい。大会の開催についても弓道連盟と連携していきたい。

(6) 下村体育館、下村グラウンド及び下村テニスコート、下村パークゴルフ場、下村馬事公園

(質疑応答)

委員 多様性への対応、利用者増という説明があったが、具体的な内容を教えてほしい。

応募者 モルックやボッチャなどのニュースポーツを随時取り入れ多様性への対応や利用者増に繋げて行きたいと考えている。また、企業のイベント、体育大会などで施設を利用してもらえるよう積極的にアピールし、利用促進を図っている。一昨年からチラシも作成し、近隣企業に配布している。

委員 下村馬事公園を維持管理していく上での難しさについて聞かせてほしい。

応募者 愛馬クラブや地域との連携は取れており、地元行事にも協力しているため、施設のアピールはできていると思うが、利用料金の設定が無いため利用料金収入はゼロであり指定管理料で運営している状況である。今後、収益が出るような事業ができないかと愛馬クラブとも協議している。

委員 下村馬事公園は市内他地域にはない独自の文化や文化財の保存という観点からも非常に価値があり、子どもにその伝統を学ばせているという点が大事である。引き続き尽力いただきたい。

委員 下村パークゴルフ場は市内利用者よりも市外利用者が多いのか。

応募者 県下で1番のパークゴルフ場だと自負している。市内利用者も多いが、市外の利用者もかなり多く、全国大会、県大会となると市外からも広く出場者が来られる。富山市に隣接している立地も市外利用者が多い要因の一つだと考えている。

委員 大会開催時に渋滞や駐車場不足などの問題はあるか。

応募者 以前は駐車場不足の問題があったが、現在は旧下村デイサービスの駐車場の借用、ふれあい農園横の駐車場整備によって大会時でも特段の問題は生じていない。

委員 下村パークゴルフ場の令和5年度の利用者減少の要因と対策等の今後の取組について教えてほしい。

応募者 利用者減については、コロナ禍と夏季の高温による外出控えが原因であると考えている。パークゴルフは高齢者のスポーツというイメージが強いが、小学生のクラブ活動や親子活動でも利用があるので、年齢関係なく行えるス

ポーツだと思う。高齢者の継続利用と同時に若い世代にもパークゴルフに親しんでいただけたら、という思いから企業や学校PTA等にも広くPRを行っている。

5 選定結果

	施設名	応募者	評価点
1	新湊総合体育館及び新湊テニスコート	特定非営利活動法人 新湊カモンスポーツクラブ	348点
2	小杉総合体育センター	特定非営利活動法人 こすぎ総合スポーツクラブきらり	346点
3	小杉体育館	特定非営利活動法人 こすぎ総合スポーツクラブきらり	350点
4	大門総合体育館	特定非営利活動法人 だいもんスポーツクラブ	345点
5	大島体育館及び大島弓道場	特定非営利活動法人 おおしまスポーツクラブ	349点
6	下村体育館、下村グラウンド及び下村 テニスコート	特定非営利活動法人 しもむらスポーツクラブまいけ	334点
7	サン・ビレッジ新湊	公益財団法人 射水市スポーツ協会	317点
8	パークゴルフ南郷	特定非営利活動法人 だいもんスポーツクラブ	333点
9	下村パークゴルフ場	特定非営利活動法人 しもむらスポーツクラブまいけ	346点
10	下村馬事公園	特定非営利活動法人 しもむらスポーツクラブまいけ	326点
11	海竜スポーツランド	公益財団法人 射水市スポーツ協会	326点

評価点数が500点満点の6割以上の300点に達しているため、各団体を指定管理者候補者とした。